

医療費助成で、三歳以上は病院窓口で支払い、後日市に申請し、一部負担分を除き助成されるというものでしたが、多くのお母さんたちは、「なぜ現物給付にして窓口での支払いをなくすことができないのか、後からの選付は二度手間で人件費が無駄にかかるだけではないか」ということを口を揃えて言います。

この辺はどうなっているのでしょうか？

今、三歳未満の医療費は現物給付です。しかし、三歳以上については現物給付を行うと国などからの補助が少なくなってしまうため、財政が豊かでない限りは難しいのが現状です。それが一番大きな理由ですが、それだけでなく、税金を無駄遣いしないようなブレーキも必要で、無料だからと安易に、コンビニのよきな感覚で利用するところに自制心を持つことも重要です。多少面倒なところもある予算の中で、限

ているというところに理解をいただけるよう、これから地区座談会などでお話しさせていただきます。どうでしょうか。

ただ、私の任期四年間のうちに、まだ、栃木県内ではどこもやっついていないので、高校卒業する十八歳までを全額助成するように持つていき、子育て環境日本一の具体的な事例にしたいと考えています。

子育て世代だけでなく、高齢者対策もやはり必要で、今、「健康寿命」という言葉が使われるようになりまして、健康寿命を延ばしていくのが大事なのでは？

矢板市は、医療費関連予算が多いまちです。おっしゃるとおり、予防医療に力を入れるべきだと考えています。医療費を抑えることは、子育て世代の負担を軽減することです。



市長が「市民力」という言葉を使い始めてから、かれこれ五年になります。

「子育て環境日本一を目指す」というテーマを設定したことで、それに関連する市民力の発揮がさらに期待されると思います。いかがでしょうか？

今まで、さまざまな市民力が発揮されてきました。それが下地となっていて、これからは「子育て環境日本一」のために発揮可能なところがたくさんあると思います。例えば、ファミリーサポートセンターや読み聞かせ、学童ボランティアなどは、すでにそうなっています。ただ、これからは「子育て環境日本一」に結びつけて意識化していくことが必要かもしれません。

公約のシンクタンクはどのように作られるのでしょうか？

先にも言いましたが、自治体の政策形成力が

問われる時代です。矢板市が選ばれるまちづくりをするために多くの市民の願い、望みを聴き、まちづくりを生かすために、市長に提言する組織として作りたいと考えています。

まず、さまざまな人の声を聞くための三十から四十人程からなる市民会議をつくり、そこで出た意見を、シンクタンクや市の若手職員により調査研究していきます。

シンクタンクには各界、各層から有識者を選ぶつもりでいます。

最後に、矢板らしさとは？

都会にはないものがあるところだと思っております。ですから、ローカル色をきちんと出していくことが必要だと思います。

人情味があることもそのひとつだと思います。最後に精神的なより所になるのが人と人のつながりです。今、コミュニティ形成を進めているのもそのためです。

兵庫畑 柵田農家 が収穫祭の時に実施

大賞
柵田清流米 30kg

賞
柵田清流米 20kg

準賞
柵田清流米 10kg

入選
柵田清流米 5kg

佳作
柵田清流米 3kg

【募集規定】
カラープリンター四つ切(四つ切ワイドも可)デジタル写真可(デジタル加工は不可)

【応募方法】
写真の裏側に「題名」「氏名」「電話番号」を記入し貼付

【提出先】
エマタカメラ店または市役所総合政策課広報担当まで(〒241-0202)

【応募締切り】
平成二十四年十月一日(必着)

【審査】
柵田農家の皆さんと柵田オーナーの方々

【共催】
エマタカメラ店・市民力かわら版

兵庫畑の柵田・写真コンテスト

木の温もりのある旧長井小学校の一部を利用してみませんか？

旧長井小学校を管理しているNPO法人ワーカーズコープでは、現在使用していない教室などの一般貸し出しを行っています。学習室、ランチルーム、多目的室などが半日500円、800円で使えます。詳しいことは直接電話で確認して下さい。

・0287(43)0424

